

さらにできることをふやすぞ ～第4期～

校長 館林 美和

充実した夏休みを送り、9月から第4期に入りました。第4期は、運動会という大きな行事を核にして、「仲間と力を合わせる」ことと、日常の学びで「相手を意識して話す・聞く」ことを重点にしています。

9月中旬、運動会応援団の結団式が行われました。団を引っ張る応援団は、運動会を通してどんなことを頑張るのかを決意して選ばれました。

- 誰よりも大きな声を出す。チームが負けていても全力で応援する。日常生活でも大きな声で呼びかけをする。
- 運動会が苦手な子でも楽しめる運動会にします。そのために、下級生が大きな声を出していたら誉めてあげたり、あいさつが返ってこなくても自分から大きな声であいさつしたりします。
- みんなが楽しくて、一人一人が輝く運動会にする。そのために、生活面でも他学年のお手本になる。
- 呼びかけでは、だめなことはだめと言える自分になります。行事やキャンペーンでは、全学年で一番に動きます。
- 相手の団より大きな声で歌を歌います。授業中の返事を大きくして、あいさつも意識していきたいです。

(応援団の決意書より一部抜粋)

全校の前に出て、大きな声で指示を出し、まとめていくことは、とても大変ですが、今の自分を乗り越えるよい経験となります。

休み時間に運動場に目をやると、3年生が一輪車の練習に取り組んでいます。何度失敗しても、ペダルに足をかけ挑戦し続ける姿があります。「できるようになりたい。」という思いで取り組む姿は、まさに第4期の目指すところです。

行事は、子どもたちが変容するためのカンフル剤でもあります。変わりたい、レベルアップしたいと願い、精一杯力を注ぐ子どもたちの毎日が学校にあるとよいと思っています。運動会を通して、「努力できたぞ」「自分もできることがわかった」と少しでも自信を付けられる機会でありたいと考えます。



R8 年度に向けた校舎改修

夏休み中に、校舎内のトイレの洋式化と照明のLED化、倒木の恐れのある木の伐採や枝払いが行われました。

トイレは明るく、そして手洗いや照明はセンサーで感知するようになり、大変快適になりました。

運動会までには、外と体育館トイレが洋式化されます。校舎の外壁修繕については年内まで続きます。

まだまだ校舎周りではご迷惑をおかけします。



夏のがんばりがいっぱい！夏休み作品展

作品がずらりと並んだ体育館。二日間ではありましたが、多くの方に子どもたちの作品を見ていただくことができました。

学校での学習を発展させたあさがおの観察や地域探検。旅行の思い出を作品に生かしたもの。夏休みだから一人で挑戦した料理や工作。家族や自分の生活に役に立つことを考えた木工作品。知りたいことを思いきり追究した科学作品…。

すべての作品に子どもたちの「ねがい」があり、「ねばり強く」取り組んだ素敵な作品ばかりでした。

作品づくりを通して、道具の扱いを習ったり、一緒に見学や探検に出かけたり、作品のまとめ方のアドバイスをしてもらったりと家族とコミュニケーションができたのではないかと想像しながら見学しました。

